



## 平成21年度補正予算

件名	補正額	補正後の総額	主な内容	議決結果
老人保健特別会計(第2号)	2320万円減額	628万3千円	<b>歳入</b> ・支払基金交付金 1401万1千円減額 <b>歳出</b> ・医療諸費 2320万円減額 (制度廃止に伴い医療費が当初計画より不用となる)	可決 (全員賛成)
後期高齢者医療特別会計(第1号)	61万2千円	1億1902万1千円	<b>歳入</b> ・繰越金 61万2千円 <b>歳出</b> ・諸支出金 61万2千円 (前年度からの繰越に伴う一般会計への精算金)	可決 (全員賛成)
水道事業会計(第3号)	収益的収入		<b>歳入</b> ・他会計負担金 110万円減額 <b>歳出</b> ・消火栓の補修工事費 110万円減額 (入札残)	可決 (全員賛成)
	110万円減額	2億1549万41千円		
	収益的支出			
	110万円減額	2億708万6千円		
	資本的収入		<b>歳入</b> ・工事負担金 300万円	可決 (全員賛成)
	300万円	602万円		
	資本的支出		<b>歳出</b> ・配水設備改良費 300万円	
	300万円	471万2千円		

### 国道442号現道整備促進についての県への要望書提出について

現国道442号線は、大川・大木バイパスの供用開始に伴い、平成21年6月議会において、町道路線の認定を議決した。その後、全員協議会において、議会としても今後の整備については、町負担が生じないよう県へ要望書を提出することになり、その内容、要請事項については、建設経済常任委員会において取りまとめることとなった。

建設経済常任委員会では数回の会議を開き、舗装の補修や橋梁など構造物の新設など要望箇所を洗い出し、10月の全員協議会においてその内容について提案した。

全員協議会では委員会提案の要望事項を審議し、その後、大川市議会と協議を行い、両市・町議会が一体となって県へ要望書を本年2月に提出した。(建設経済常任委員会)

